

道の駅「蓮如の里あわら」整備構想 概要

1 道の駅整備の目的と意義

「道の駅」は、令和2年7月1日現在、全国で1,180駅が登録されており、県内には16駅設置されていますが、あわら市には未だ道の駅が整備されていません。

このため、国道305号が通る吉崎地区に、あわら市北部の地域資源やポテンシャルを最大限活かし、地域活性化の拠点として、休憩・情報交換、地域連携の機能をもった、地域とともに作る個性あるにぎわいの場として、あわら市初となる道の駅を整備することとします。

令和5年春の「北陸新幹線芦原温泉駅開業」や、それに伴う秋のデスティネーションキャンペーン、同年9月に芦原ゴルフクラブで開催される「日本女子オープンゴルフ選手権」など、今後、福井県や本市に注目が集まる事業やイベントが数多く企画されています。こうした機会を確実に捉え、「道の駅」と「北陸新幹線芦原温泉駅」、「あわら温泉街」の3地点をネットワーク化し、点から線、線から面として、市内全域の周遊性を高め、あわら市全域の活性化を図りたいと考えています。



2 道の駅の目指すべき方向性とコンセプト等

1 道の駅の目指すべき方向性

従来の「休憩」が利用目的となる道の駅ではなく、道の駅自体や地域資源を楽しむなど、「目的地」となる道の駅を目指します。

このため、さまざまなポテンシャルを秘めた吉崎を含むあわら市北部地域の強みや特徴を最大限に生かし、地域の顔として、個性的で魅力的な道の駅とします。

- ① 単なる通過点ではなく、来訪者が楽しめる道の駅を目指す。
- ② 地域住民が集い憩う場所、住民や来訪者が利用する物販所等を整備することで、住民生活の利便性や地域の賑わいの向上を図る。
- ③ あわら市北部エリアへの人の流れを作るなど、道の駅を拠点とした地域の活性化を目指す。
- ④ 観光や市の地域の魅力に関する情報の発信拠点として、来訪者と地域を結ぶ道の駅を目指す。
- ⑤ 坂井市や加賀市等と連携し、地場産業や広域的な観光の振興につなげる。

2 道の駅のコンセプト

さんぼう
「三方よし、感幸ステーション」

住む人も来る人も地域全体も“よし”となる幸せの結節点

- 結ぶ…福井の北の玄関口、石川の南の玄関口として、人・モノ・コト・情報が集まる結節点
- 集う…地域住民や来訪者が集い、憩い、遊び、楽しむ賑わい拠点
- 育む…丘陵地の農産物や地元特産品の販売、郷土料理等を提供する産業振興の拠点
- つなぐ…観光地をつなぎ、誘客拡大を図る周遊観光の拠点
- 学ぶ…蓮如の里をはじめ北部エリアの歴史・文化や自然・環境を楽しく学べる拠点
- 安らぎ…アウトドアスポーツ（ウォーキング、ジョギング、サイクリング）等で心身をリフレッシュし、健康増進を図る拠点

3 名称

道の駅の名称については、整備予定地の歴史・文化、知名度、さらには人々の親近感などを勘案し、次のとおりとします。

道の駅「蓮如の里あわら」

4 開設時期

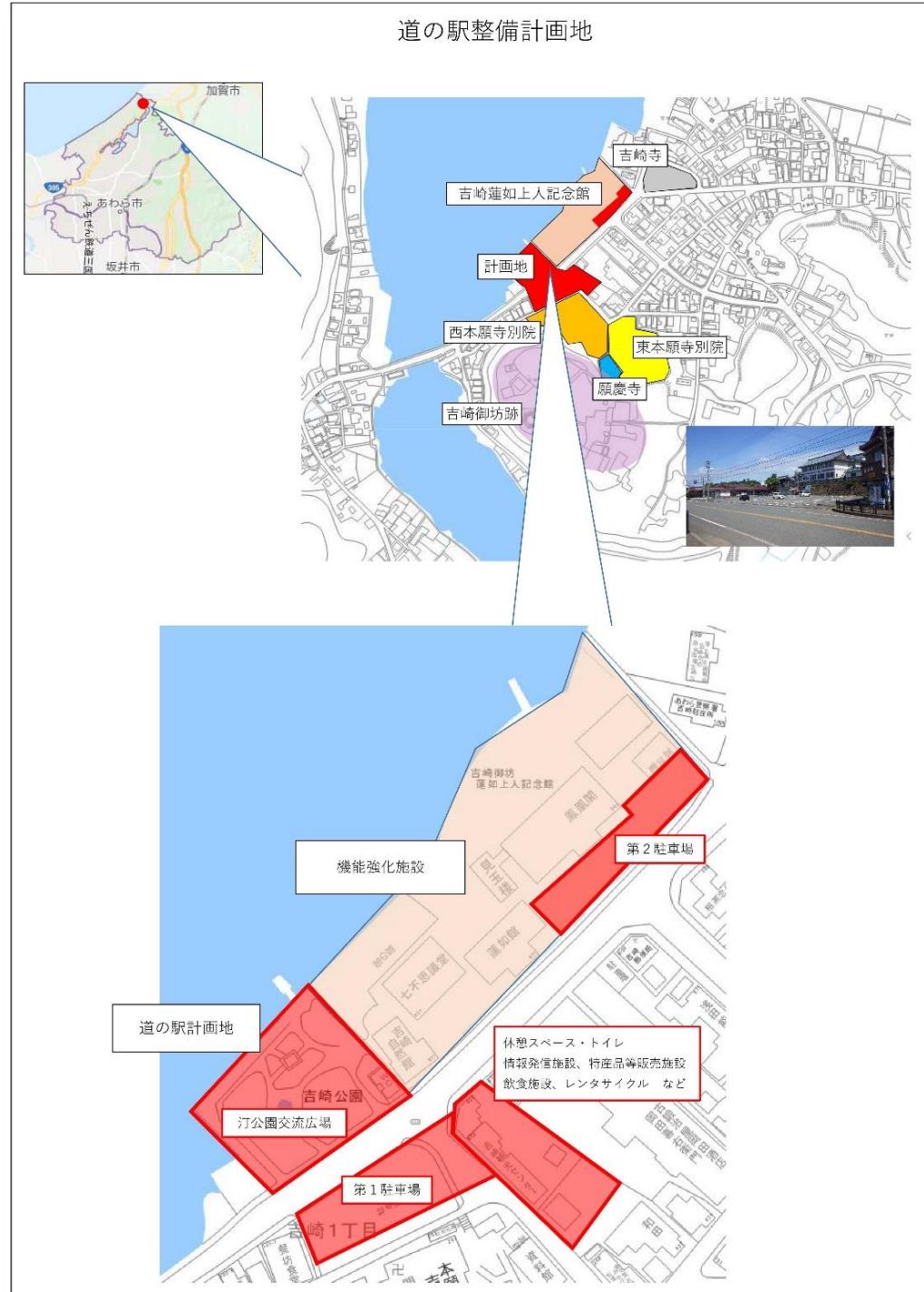
令和5年4月中旬

3 道の駅整備の計画地等

1 道の駅整備の計画地

吉崎御坊の県営駐車場や都市公園である「吉崎汀公園」、民間施設の「吉崎観光センター」などの既存施設のエリアと、隣接する「吉崎御坊蓮如上人記念館」のエリアを機能強化施設とし、両エリアを道の駅として機能的一体的に整備します。

※ 機能強化施設については、国土交通省と協議中

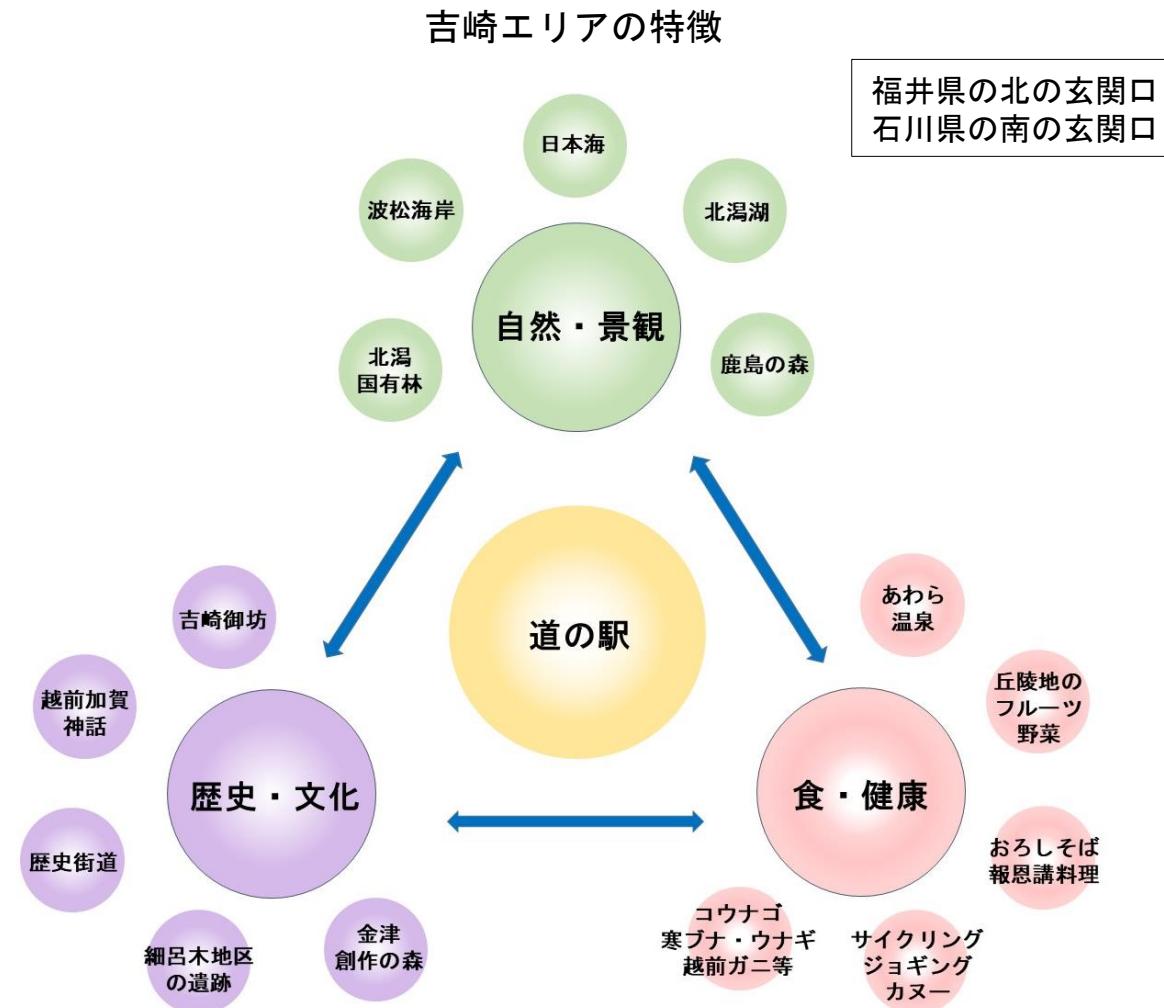


2 周辺関連施設と道の駅整備エリアの特徴

(1) 周辺関連施設

- ① 吉崎御坊跡及び寺院
 - 吉崎は、浄土真宗中興の祖・蓮如が北陸での布教の中心拠点に選んだ場所で、現在でも付近一帯は「蓮如の里」と呼称されています。
 - 浄土真宗本願寺派の別院（吉崎西別院）、真宗大谷派の別院（吉崎東別院）、願慶寺、吉崎寺があります。
- ② 吉崎御坊蓮如上人記念館（一般財団法人本願寺文化興隆財団）
 - 平成10年に一般財団法人本願寺文化興隆財団によって設立されました。蓮如上人の御名号や御文（御文章）などの貴重な文化財と史料を展示する「蓮如館」、総檜寝殿造の「鳳凰閣」、「七不思議堂（国登録有形文化財）」、「信の庭」、桃山様式の高廊下風庭見台「見玉楼」等からなり、蓮如上人の生涯と教え、吉崎の歴史や文化を深く学ぶことができます。
- ③ 越前加賀県境の館
 - あわら市と石川県加賀市の県境を跨いで建っている館で、周辺地域の歴史に関する展示を楽しむことができます。

(2) 道の駅整備エリアの特徴



4 道の駅導入機能及び施設等

1 休憩機能

(1) 駐車場

安全確保のため、小型車、大型車、ハートフル対応型車、二輪車の駐車スペースを分離して整備します。

第1駐車場

予定	小型駐車場25台、大型駐車場5台 ハートフル駐車場2台、二輪駐車場10台 バス停留所1カ所
----	-----------------------------------------------------

第2駐車場【鳳凰閣前駐車場】

予定	小型駐車場30台、大型駐車場5台
----	------------------

(2) トイレ

- 明るく清潔な24時間利用のトイレを整備します。
- オストメイト、授乳スペース、幼児・身体障害者用を備えた多機能トイレを整備します。

(3) 休憩スペース

- 休憩しながら道路情報等を確認することができる休憩所を整備します。

(4) 関連施設

- 駐輪場やサイクルラックを設置します。
- 更衣室やシャワールームなど、ドライバーだけでなく、サイクリングロード等の利用者がいつでも休憩できる環境を整備します。

2 情報提供機能

(1) 情報発信施設

- 道路利用者が必要とする道路や交通情報、天気情報、冬の雪道情報、災害情報等の情報をリアルタイムに提供する施設を整備します。
- 道路情報提供施設として、掲示板、道路情報モニター、Wi-Fi機能等を整備します。

3 地域振興機能

(1) 汀公園交流広場

- 吉崎汀公園を、風光明媚な湖畔の風景で疲れを癒したり、地域住民が交流イベントなどを行うことができる広場として活用します。

(2) 特産品等販売施設

坂井市や加賀市と連携し「吉崎楽市楽座」として整備します。

① 農産物直売所

- 坂井北部丘陵地等で収穫された新鮮な農産物の良さや安全性を発信するとともに、生産振興を図るため、ファーマーズマーケットを整備します。

② 土産物販売所

- 市内外の選りすぐった特産品（菓子類・酒類・伝統工芸品等）等販売する施設を整備します。
- 金津創作の森と連携し、入居作家等の作品を展示販売します。

(3) 飲食施設

① 軽飲食販売所

- 手軽に利用できるフードコートを整備します。
- 吉崎ならではの報恩講料理のほか、地域特産品を生かした新たなメニューを開発します。

4 周遊観光促進機能

(1) 観光案内施設

① 観光情報発信コーナー

- 観光案内やイベント情報など各種パンフレット等を提供し、市内をはじめ嶺北各地や加賀市等の情報を発信する観光案内コーナーを整備します。
- 市内外の観光地を映像で紹介するデジタルサイネージを整備します。

② まちあるきツアー案内コーナー

- 「一般社団法人 蓮如の里吉崎」が、御山や寺院巡り、北潟湖水上散策、弁天島を中心とした自然散策等を体験メニュー化したまちあるきイベントを開催します。
- 「吉崎ガイドクラブ」が、蓮如の里の歴史・文化、食などの魅力を紹介します。

(2) シャトルバス等停留所

- あわら北部周遊バス「あわらぐるっとバス」と加賀周遊バス「キャン・バス」の停留所を同じ場所とし、利用者の利便性の向上と周辺の観光地間の周遊性を高めます。

(3) レンタサイクル

- 道の駅周辺等の観光スポットを楽しんでもらうため、レンタル自転車を配置します。

5 機能強化施設

(1) 吉崎御坊蓮如上人記念館（一般財団法人本願寺文化興隆財団）

① 鳳凰閣

- メロン、とみつ金時、越のルビーなど特産フルーツや野菜、北潟湖や日本海産物などを用い、「蓮如レガシー」のストーリーを付加した飲食物、土産物を首都圏著名料理人（店舗）プロデュースで開発します。これを市内外に広く発信し、女性やカップル、県外からの来訪者に楽しんでもらいます。

② 蓮如館

- 蓮如上人の資料や、漫画会の巨匠・永井豪氏、里中満智子氏等が描いた「蓮如さんかるた」の絵札の原画を展示します。
- 市民を対象とした「蓮如さんかるた大会」等のイベントを開催します。

- ③ 信の庭
 - 北潟湖や鹿島の森、日本海を望みながら美しい庭園を散策することができます。
 - 吉崎汀公園と結ぶことで、湖岸散策路としての回遊性を高めます。
- ④ 七不思議堂
 - 明治14年に建てられた貴重な古民家として、平成24年に国の有形文化財（建造物）に登録されました。
 - 建物内には、蓮如上人にまつわる吉崎の民話「吉崎七不思議」が展示されています。
- ⑤ 自然館
 - 北潟湖周辺の地学、自然や動植物を紹介し、児童への環境教育を推進します。

5 整備予定地・ゾーニング計画

1 整備予定地の現状

計画地は、次の航空写真のとおり、国道305号の両側に位置します。北側には越前加賀県境の館、南側は吉崎御山、北西部には北潟湖が広がっています。

設置位置周辺の現況把握

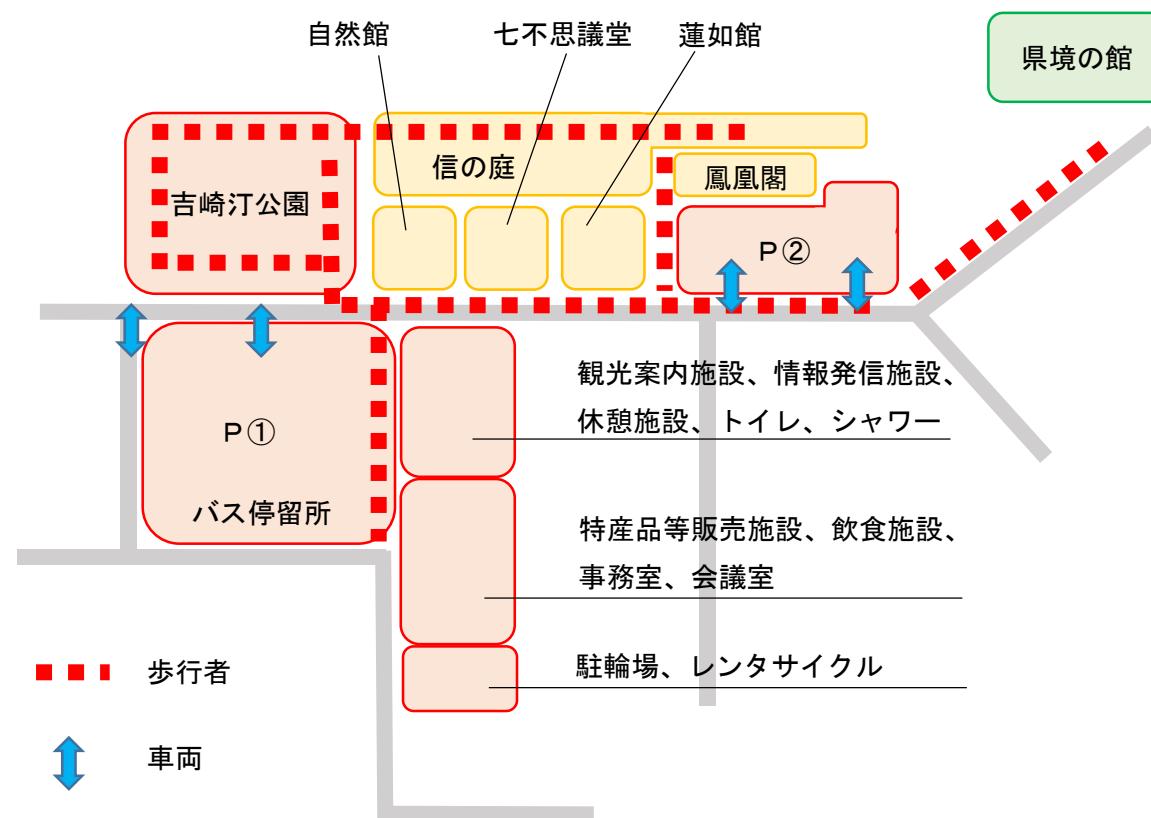


2 ゾーニング計画

道の駅及び吉崎汀公園、蓮如上人記念館（機能強化施設）への車両及び歩行者の動線を考慮し、ゾーニングを計画します。

動線の考え方

対象		動線の考え方
車両動線	施設外	・国道305号から直接アクセスする。
	施設内	・小型車、大型車が交差しないような車両動線を計画する
歩行者動線		<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場内から各施設へ安全に出入りできるような歩行空間を明確にする ・周辺地域住民等、歩行者でも利用しやすいように、国道305号から歩いてアクセスできるようにする。 ・地域振興施設予定地西側の既存市道は、計画地西側に振り替え、道の駅利用者の安全を確保する。



6 施設配置計画

◇施設配置の基本的な考え方及びゾーニング計画、動線計画を踏まえた施設配置計画図

※あわら市道の駅基本計画策定委員会で詳細を検討

7 空間計画・意匠計画

道の駅の空間及び意匠については、この地域の持つ歴史や文化を感じながら、北潟湖や鹿島の森などの周辺の自然と環境に調和する施設整備を基本とします。また、地域産の素材を使用し、来る人を癒し、くつろぐことができ、また周辺観光の拠点となるような空間・意匠計画とします。

- ① 自然環境を取り込んだ空間・意匠
- ② 移動しやすく楽しめる空間・意匠
- ③ 地域住民が集える場としての空間・意匠
- ④ 可変性のある空間計画
- ⑤ 冬季環境に配慮した空間計画

8 管理運営の基本方針

1 管理運営の基本方針

道の駅では、道路利用者の利便性向上と、地域の活性化につながる管理運営に取り組みます。利用者の満足度を得るために、サービスの質の向上や、美観や清潔さを維持します。さらに、「ここにしかない」道の駅とするための地域の独自性や、地域ならではの商品や空間づくりにも取り組みます。

こうした背景を踏まえ、誰もが利用しやすい場にするとともに、地域内外の交流・連携を図り、「おもてなし」を重視した管理運営を推進します。

- ① 誰もが立寄りたくなる「おもてなしの道の駅」
- ② 地域を周遊するきっかけの「まちの顔・案内人」
- ③ 地域の人が使えやすく、やりたいことができる「地域のための道の駅」
- ④ 周辺地区だけでなく、市全体の人とまちを元気にする「地域に還元する道の駅」

2 管理運営方針

公共施設の管理運営手法は、市が直接管理する方法（公設公営）、指定管理者により管理する方法（公設民営）、施設の管理から運営まで民間事業者が行い管理する方法（民設民営）があります。最善の管理運営手法を検討します。

9 整備の基本方針

1 道路管理者とあわら市との役割分担

本事業は、道路管理者とあわら市が共同で整備する「一体型」の道の駅として、整備を進める管理・運営方針を実現できる形態を、今後決定していきます。

導入施設		想定される整備主体		
		道路管理者	あわら市	本願寺文化興隆財団
休憩機能	駐車場	○	△	
	トイレ	○	△	
情報発信機能	休憩スペース・情報発信施設	○	△	
地域振興機能	特産物等販売施設		○	
	飲食施設		○	
	観光案内施設		○	
観光周遊促進機能	シャトルバス等停留所		○	
	レンタサイクル		○	
	更衣室・シャワールーム		○	
機能強化施設	鳳凰閣等			○
	遊歩道		△	○

2 概算事業費

道の駅整備における設計・建設等の概算事業費は、未定です。なお、財源については、積極的に国や県の支援メニューを活用します。

10 スケジュール

令和5年4月中旬、蓮如忌前のオープンを目指します。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
令和2年度	基本構想策定庁内プロジェクトチーム			■										
	基本計画策定委員会							■						
	基本計画策定業務							■						
3年度	重点道の駅協議申請（国土交通省）		■											
	基本設計業務		■											
	実施設計業務							■						
4年度	道の駅認定申請（国土交通省）						▲						▲	
	敷地造成、建築物、駐車場の整備													
5年度	4月共用開始予定	▲												

道の駅「蓮如の里あわら」計画図

